

昨年度の受講者の声より

新人研修

- ◆職場の先輩に勧められて受講しましたが、学びたかった援助技術についてや、社会保障等についても広く学ぶことができました。また、同年代の受講生の方々と話すことで、仕事でつまづいたことを共有し、アドバイスを受けることができたりして、学ぶ場と同時に改めてリフレッシュできる場でもありました。
- ◆講義を通じて自分を見つめ直すことができたり、組織理解では自分がやっていたことが間違っていた部分もあることに気づいたりしたことで、少し自分に自信が持てました。また、当初この研修の目標にしていた横のつながりも構築することができました。
- ◆学校では学べなかった実践的な技術を学ぶことができました。また、同じ職場で同期がいない私にとって、たくさんの同期と会って情報共有ができる都協会の研修はとても貴重な場となりました。初めての社会人、慣れない仕事で、いっぱいいっぱいだった1年でしたが、そんな中でもなんとか2週間に1回研修を頑張って受けてきたことは、必ずこれからの糧になると思います。

グループスーパービジョンA

- ◆GSV-A では事例報告者が事例を発表した後は、他受講生より質問を行っていくスタイルを取られています。自身の質問内容を振り返ってみるとソーシャルワークの価値をどこに重きを置いて日々業務をしているか等改めて考えることが出来、かつ自身に不足している点を知ることができた研修でした。また、色々な経験を有している受講生の集合体のため、同じ目的・目標を持つ受講生たちで切磋琢磨でき、ソーシャルワーカーの仕事の楽しさを再認識できました。
- ◆経験年数や所属機関の機能の異なるソーシャルワーカーが一同に会して事例検討をする場は非常に貴重であり、刺激的だと思いました。業務の中でGSVの中で得た気づき（例：他機関の紹介方法、クライアントの向き合い方）を生かす場面は多く役に立っています。

グループスーパービジョンB

- ◆事例提出をし、メンバーの皆様からのご意見を頂き、新たな視点に気付かされました。一方で、急性期病院の事例にふれることで、療養型病院の受け入れる側としての相談の乗り方の姿勢を考えさせられました。メンバー・先生の雰囲気も良く、事例提出者を否定しないところが、自分も含めお勧めできるところです。
- ◆様々な機能の病院の事例から、その機関だからこその悩みや共通の悩みを知ることができました。自分にはない視点でアドバイスを頂けるこの講座は、新しい引き出しをつくる良い機会となりました。

グループスーパービジョンC

- ◆ 成育歴などから患者さんの思考・行動について、紐解いていくことが今までになく、勉強になりました。また、情報の「事実」を簡潔にまとめ検討する有効性を感じました。
- ◆ ソーシャルワークを行う上でとても生活アセスメントは重要であると再確認しました。
- ◆ 1人の患者さんの生活歴を書き出し、これほど深くアセスメントすることはなく、生活アセスメントを取り入れる意識が高まりました。

グループスーパービジョンD

- ◆ 他の病院のSWと出会えたこと、様々な視点・考え方に刺激を受けることができ、お互いに受け止め合いながら議論出来たことが大きな収穫物です。
- ◆ 仲間の支持的なアドバイスや雰囲気の中で安心してケースを振り返り、素直に次に向けた反省も受け止めて考えることが出来て、経験年数に関わらず本当に役に立っています。
- ◆ 悩んでいるのは自分だけではないのだと毎回講座の後にすっきりして帰ることが出来ました。日々の業務を振り返る良いきっかけとなりました。

スーパーバイザー養成講座

- ◆ 普段の業務の考え方がいかにミクロレベルで行っていたかがよくわかりました。組織で働く人間としてどう考えるか、どうシステムをつくっていくか、という視点をもてるようになってとても1年支えられました。
- ◆ 毎回講師の先生からの問いに頭をひねって、ひっくり返して、何とか答えを出そうとし、その過程がとても面白かったです。また、スーパービジョンにおける一番大切なことを学ぶことが出来ました。共に働く人を支え、その人の能力を引き出せるバイザーになりたいと思います。